

論説、機関誌、掲載論文、内容の拡充1

本号には、助産師主導型のケア、mHealthの活用、大学生の性体験、産褥抑うつなどの論文が掲載されている。糖尿病に関する論文も掲載されており、妊娠糖尿病を有する女性に対する助産師のケアが述べられている。2013年度の初号では読者が望む高い水準が維持され、読者の意見を活用した改革が行われている。読者がもっと読みたいものは臨床家のためのリソースと根拠に基づいた実践のリソースの欄であった。Share with Womenの欄の資料はすべてウェブから無料でダウンロードできるようになっている。本号に不満を表明した読者に共通するテーマは内容の妥当性とその実用性であった。過去数年間の継続教育に関わる論文は少なかったが、本号から多くの論文を発行することを計画している。本誌ではウェブサイトで継続教育を提供しているがACNM会員は割引を受けられるようにした。JMWHは生涯を通じた女性のヘルスケアを改善し助産学を向上させたいと考えている。

What's New in 2013 for the Journal of Midwifery & Women's Health

Frances E. Likis, CNM, NP, DrPH, FACNM, Editor-in-Chief

J Midwifery Women's Health. 2013 Jan-Feb;58(1):1

婦人科、親密なパートナーによる暴力、診療管理、プライマリケア、過敏性腸症候群3

過敏性腸症候群は腹痛と便通の変化を特徴とする胃腸障害である。本症は多くの女性の QOL に悪影響を及ぼし、ヘルスケアの負担となっている。症候群の発生に関わる因子は数多く認められ、必ずしも明確にされておらず、ストレス、内的小および外的環境因子、生物学的メカニズムなどが関与していると思われる。男性よりも女性に多くその性差には明らかな生物学的、心理的、身体的差異が存在し、女性の管理には特定のアプローチが必要となっている。この論文の目的は、過敏性腸症候群の病態生理について調べ、それがどのように女性と関わっているのかを調べ、この性差の問題を診断や治療にいかに取り入れるかということについて検討した。

Irritable Bowel Syndrome in Women

Katie Caulfield Roisinblit, MSN, ANP-BC, WHNP-BC

J Midwifery Women's Health. 2013 Jan-Feb;58(1):15-24

妊娠糖尿病、糖負荷試験、産褥ケア、看護助産師、女性保健14

妊娠糖尿病の履歴を有する女性において、産褥期における耐糖能障害のスクリーニングは分娩後も耐糖能障害が持続している女性を特定する上で重要であるが、実際にスクリーニングを受ける女性の割合は適切なレベルに達していないと報告されている。文献的レビューによると、認定看護助産師によるスクリーニングの実施に関わる研究は行われていない。今回の研究の目的は産褥期のスクリーニングにおける耐糖能障害の割合を調べ、認定看護助産師による妊娠糖尿病女性のケアの状況について検討し、スクリーニングの状況の改善とそのための戦略を確認することである。

2010年10～12月にかけてオハイオ州保健局がオハイオ州で診療に当たっているすべての認定看護師に郵送およびインターネットを介して質問票を送付し、産褥糖尿病スクリーニングに関する知識、態度、診療状況、行動について調べた。産褥糖尿病スクリーニングの実施頻度ごとに自己報告による臨床に関わる行動の差異を調べ、カイ二乗検定を用いて統計的分析を行った。

産褥のケアを担っている認定看護助産師146名のうち50.4%から妊娠糖尿病のスクリーニングに関する回答が得られた。産褥期にスクリーニングを実施している認定看護師のうちわずか48.4%が空腹時血糖または2時間 OGTTを試みていた。回答者の86.2%は妊娠糖尿病が2型糖尿病のリスクを高めることを女性に伝えていたが、定期的な運動を勧めたものは63.1%、ダイエットの支援団体や栄養カウンセリングに紹介したものは23.3%に留まった。

生活様式に関わる介入などに関する地域のリソースの確認や産褥期スクリーニングガイドラインなどに関する訓練が産褥のケアの改善に役立つという認定看護助産師からの回答が得られたオハイオ州の認定看護助産師の産褥期糖尿病スクリーニングとそれに伴う産褥検査は適切なレベルを下回っている認定看護助産師を訓練し生活様式の変更を支える地域のリソースの確認を促すことによって、妊娠糖尿病の既往のある女性のケアを改善することができるのではないかと期待される。

Gestational Diabetes Mellitus and Postpartum Care Practices of Nurse-Midwives

Jean Y. Ko, PhD, Patricia M. Dietz, DrPH, Elizabeth J. Conrey, RD, PhD, Loren Rodgers, PhD, Cynthia Shellhaas, MD, MPH, Sherry L. Farr, PhD, Cheryl L. Robbins, PhD

J Midwifery Women's Health. 2013 Jan-Feb;58(1):33-40

論説、頸癌、スクリーニング、改正23

2012年に12,170例の新たな子宮頸癌が発生し、4,220例が死亡している。頸部浸潤癌の疫学、病因、病態生理が理解されるようになり、細胞診によるスクリーニングのガイドラインが見直されている。改訂版の勧告では、1) 頸癌のスクリーニングは21歳から開始する、2) 21～30歳の女性においては頸癌のスクリーニングは3年ごとに細胞診のみを実施する。3) 30～65歳の女性においては頸癌のスクリーニングは5年ごとに細胞診とHPV検査の併用か、または3年ごとに細胞診単独によるスクリーニングを行う、4) 前回、適切なスクリーニングを受けており、頸部上皮内病変2 (CIN2) 以上の既往のない65歳以上の女性では頸癌のスクリーニングは行わない、5) 良性疾患のための子宮摘出術あるいは頸部の切除術を受けた女性においては、どのような方法による頸癌のスクリーニングも必要としない、6) 頸癌のスクリーニングはHPVワクチンの接種の有無によって左右されない。勧告は早期発見、早期介入、早期治療から生じる有害事象を低下させメリットを最大限に高める目的で作られている。

Cervical Cancer Screening Guidelines 2012

Nancy K. Lowe, Editor

J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 2013 Jan/Feb;42(1):1-2

頻発子宮収縮、過剰刺激、オキシトシン、分娩誘発、周産期の安全、胎児モニタリング24

ACOG (アメリカ産科医婦人科医学会) と女性保健産科新生児看護協会 (AWHONN) が定めた用語を用いて子宮の急速収縮の発生率を調べた。後方視的に診療記録をレビューし、同時に胎児心拍モニタリングの記録用紙を独立して分析するコホート研究を行った。月間400件の分娩を担う地域病院における10床の陣痛分娩科で2009年10月における346例の分娩の中の55例を対象に分析した。

採用基準は単胎頭位の生産分娩で分娩誘発にオキシトシンの点滴を用いた女性とした。4つの用語の基準に従って30分単位の胎児心拍モニタリング記録を798.5時間にわたって分析した。オキシトシンの投与量、NICHDに従った胎児心拍のカテゴリ、母体年齢、出産歴、妊娠に関わるリスク因子、分娩誘発の適応、分娩様式、生下時体重、アプガールスコアなどのデータを収集した。

1,597区分のうちの頻発子宮収縮 (uterine tachysystole, UT) をみたものは661区分で全急速収縮の発生率は41%であった。55名の患者のうち54名 (98%) において頻発子宮収縮が1回以上認められた。観察者間の信頼度を調べたところ、それぞれ718回と698回の頻発子宮収縮を認め、その一致率は86.3%という結果であった。今回の研究の結果はオキシトシンの投与量を慎重に調節し、頻発子宮収縮には迅速に対応することが必要であることを示している。頻発子宮収縮の検知が妊婦とその児の健康と安全性を促進し良好な結果を生むものと思われる。

Incidence of Uterine Tachysystole in Women Induced with Oxytocin

Marguerite K. Kunz, Rebecca J. Loftus, and Amy A. Nichols

J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 2013 Jan/Feb;42(1):12-18

クラミジアトラコマティス、スクリーニング、診療変更、品質改善、ウイメンズヘルス31

26歳未満の性的活動を有するすべての女性において、クラミジアトラコマテスのスクリーニングを1年に1度受けることが標準的な推奨されるケアとなっている。しかし、ほとんどの女性が実際には検査を受けていない。今回、ウイメンズヘルスのプライマリーケアにおいてルーチンなクラミジア検査率の向上に成功した介入法について紹介する。介入後には検査率は53.4%から76.1%へ上昇した。このような結果は、女性の教育、ケア提供者からのフィードバック、クリニックにおける促進活動などがケア提供者におけるクラミジアのスクリーニングの行動に影響を与えることを示唆するものである。

A Practice Improvement Intervention Increases Chlamydia Screening Among Young Women at a Women's Health Practice

Lindsey Diane Kettinger

J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 2013 Jan/Feb;42(1):81-90